

COLUMN: 先生紹介 ▶ 中川 昂己 (今津教室)



はじめまして。今津教室で個別クラスを担当しています中川昂己です。

私は小学2年生から古市教室珠算部に通いはじめ、中学生からは関目教室に通塾し勉強しておりました。結果、カイチに通ったおかげで第一志望校の「大阪市立東高等学校」に合格し、今年からは和歌山大学に通っています。今日はなぜ勉強しなければならないのかということについて、私が感じていることを皆さんにお伝えしたいと思います。私はカイチに通ってい

た時、決して勉強をバリバリ頑張ると言うタイプではありませんでした。むしろ「歴史なんか役に立たないし。織田信長を知って、何になるんや」「二次方程式の計算や因数分解なんかどこで使うねん。」と思っているような生徒でした。(カイチの授業は面白かったし、もちろんそれなりに勉強していましたよ)昔の私と同じことを思っている生徒も中にはいるのではないのでしょうか。確かに皆さんが今、学んでいることのほとんどは将来使わないかもしれません。では、なぜ勉強しなければならないのでしょうか。

それは選択肢を広げて夢を実現するためです。私には夢があります。それは建築士になること。その為に中学ではカイチで勉強し、高校でも勉強してきました。無意味と思える勉強であったと

しても、今はようやく建築のことを専門的に勉強できる環境になりました。専門的に建築を勉強できる今となって、無意味だと思っていた勉強にも色々意味があることがわかってきました。5科目の基礎知識があるおかげで大学で勉強していることの内容がわかりますし、基礎知識があるおかげで深く考えることができます。また、珠算で培った集中力も勉強する上では大きな武器となっています。

皆さんにとって、今は勉強以外に楽しいことが多くあるかもしれませんが、夢を実現するためには勉強はとても大事で不可欠なものです。まだまだ未熟ではありますが、皆さんの成績をあげるため、精一杯頑張りますので、これからよろしくお願いたします。

シルバーの **イイ話** ちょっと

TEACHER'S VOICE シルヴェスター・B・メデリン (トーキングキッズ)
「Amazing experience in Japan!」
素晴らしき日本体験

The land of the rising sun is deemed as a paradise for foreigners like me. Given the chance to live in one of a kind place and known paradise is one of a kind experience to cherish. I know from the very start that Japan can offer an ultimate teaching experience and the chance to explore its beauty. I really love nature, so I was truly amazed when I landed in Japan. Seeing the gigantic mountains filled with green trees which leaves change in Autumn is

breath taking. It has been a life-changing experience, in a good way. One of my remarkable experiences happened in Nara park. It was Winter that time, but the cold weather did not suppress me from exploring the one of the most visited tourist spots in Japan. I was so amazed how huge it is. I roamed around the park and the stunning view of the trees and landscape made me realize how magical nature is. The most fascinating about it is the

日出づる国一日本という国は僕のような外国人にとって楽園のように思えます。このような居心地のよい地で暮らす機会はとても貴重です。

以前より僕は日本に行けばきっと英語教師として最高の経験を得られ、また日本の美を探求できると確信していました。僕は自然が大好きなので、日本に来たときは本当に感動しました。青々とした木に満ちた雄大な山々が秋に紅葉するのは息を飲むほど美しいです。それは僕の人生観を変えるほどのものでした。

奈良公園で私は驚くべき体験をしました。季節は冬でしたが、日本で最も人気のある観光地を探索するのに夢中で寒さなど感じませんでした。公

園の広さには驚きました。僕は公園内を歩き回り、美しい木々の風景を見てすっかり自然の魅力にとりつかれてしまいました。

一番興味深かったのが公園内で歩き回っているおよそ1200頭の鹿の群れでした。彼らは街のシンボルであり天然記念物でもあることを後に知りました。

よく人に馴れています鹿せんべいをやると攻撃的になることがあるそうです。僕は餌をやりまして、すごく貴重な経験になりました。この有名な公園を訪れることができ、満面の笑みを浮かべながら僕はこの地を後にしたのでした。



multitude of deer roaming around which is nearly 1200. I heard that they have become a symbol of the city and have even been designated as a natural treasure. They are surprisingly tamed, but they can be aggressive if they are fed with deer crackers. I also did the feeding which was a rare experience. I left the park with a full of smile having the chance to visit the famous park.



Growing

June 2018
Vol. 70
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467



高木 秀章 (塾長)

中間テスト、みんな良く頑張りました！ 平均90点以上が83名、 自己ベスト111名が獲得 (5月末現在)



中間テストが終了し結果が返ってきています。まだ、全員の結果は出揃っていませんが、このGROWINGを書いている今現在で、平均90点以上が83名、過去1年間の中での自己ベストを出した生徒が111名、凄い結果になっています。

先生はチラシの写真撮影のために、定期テスト対策中の各教室を回りましたが、とにかく生徒達と先生の勢いが凄いが印象的でした。諸口教室では、教室はもちろん、廊下の一角をパーテーションで囲み、机を入れて生徒達が自習している。(諸口教室は春に1回目の教室拡張が終了。7月迄に2回目の拡張工事を実施し座席の確保に努めます。)今津教室では、職員室を倉庫に移動させ、今までの職員室を自習室として開放し、みんなで一生懸命学習している。勉強とは黙々とするものですが、静かな中に熱気がある。面白いのは、写真を撮りに行った私にまで「先生、数学いける?」と言って質問をしてくる。先生の指導の気迫が凄すぎて、塾長の私が中には入れなかった教室もありました。元来、テスト勉強は辛いはず、カイチの先生も真剣な分、怖いはず。でも、生徒達とはとにかく明るくて楽しそう。その様子は、このページに掲載している写真からも、きっと伝わると思います。

中間テストの結果は全体としてはOKですが、中には成績が伸びなかった人もいます。でも、そんな子もきつと自習室や、9時間自習に来て頑張ったはず。特に、中学1年生は、こんなに勉強したのは生まれて初めてだったかも知れない。「努力したのに、～君より成績が悪かった。自分は頭が悪いかも知れない…」もし、そのように考えている人がいるとするならば、大間違いです。

もちろん頭の良さ(能力)の差は、足の速さのように個人差があります。でも、足の速さもトレーニングや、正しいフォームを覚えることで劇的に変化するように、学習も正しい学習方法を身に付けることで基礎能力や成績は確実に伸びます。

例えば、国語。学校の教科書と先生のノートは何回読みましたか? もし、国語は日本語だからあまり勉強していないと言う人がいるならば、明らかに努力不足です。成績上位者の多くが教科書、ノートを10回以上読み、特に工夫している生徒は学校の先生のノートやプリント内容を教科書に書き

込み、それを何度も音読しています。こうすることで、教科書、ノートを効率よくまとめて読めるだけでなく、書き込みの量で、どこが出題される可能性が高いかが一目で分かります。

成績がいい人には、良いの理由があります。同じ努力でも、努力の仕方が違うのです。

すでにお知らせを配布していますが6月16日(土)に「オール5を目指す!カイチ流定期テスト学習法」と題して教育講演会を実施します。この講演会で皆さんには、450点以上の成績を取っている生徒達が一体どのような学習方法で勉強しているのかを大公開します。

先生達が、学習法を調べる中で驚いたことは、成績が悪い生徒達の学習法はバラバラだけど、成績の良い生徒達の学習法には共通点が多く、しかもシンプルであるということです。ですから正しい学習法を身に付けることで、効率よく学ぶことができ、学習時間を短くすることができます。

定期テストの学習法が身に付くことで、将来の受験勉強の方法も自然に身に付きます。また、方法を理解し計画的に取り組むという考え方が、将来の仕事の取り組み方にも影響します。

生徒の皆さんの中には、「なんで、勉強せなあかんの?」と疑問に思っている人もいます。このように疑問を持つことはとても大切なことだし、そのことを理解して学ぶのと学ばないのでは、大きな違いがあるようにも思います。

カイチがなぜ、皆さんに学習内容と同じように、「学習方法」に力を入れて指導するのか。

その答えは、学習法の習得の中に、人生の夢を叶える方法が隠れているからです。

詳しくは講演会で、お話したいと思います。

当日は席数に限りはありますが、お友達とお誘い合わせの上、お越し下さっても結構です。(無理な勧誘などは一切いたしません。) 期末テストは、正しい学習方法で学習し、全員で自己ベストを出し、最高の夏休みを迎えましょう。

カイチからの
お知らせ

- 6月16日(土)は教育講演会を実施します。中学2年生11時～12時30分、中学1年生13時30分～15時です。塾生は必須ですので必ずお越しください。
- 6月16日(土)・6月23日(土)は中学生対象で9時間自習を13時～22時で行います。定期テストまで、最後の追い込み、みんなで頑張りましょう。
- 6月24日(日)は珠算上級検定です。6月23日(土)は直前練習を実施いたします。時間については、教室ごとにお知らせします。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

中学生の時にカイチで学んだことを生かし、 カイチ予備校から大学へ!

福井 幸司 (カイチ予備校・関目教室)



現代文、古典、地理、世界史、数学Ⅰ、数学A、生物、物理、英語Ⅰ、英語表現。

ある高校の高校1年生の1学期中間テストの全教科名を挙げてみました。

5日間で10教科。中学生と比較にならない分量です。初めての定期テストを目の当たりにし、不安になったのでしょうか、生徒達はテスト勉強の方法を相談にやってきました。

私は「中学生の時にカイチで学んだ通りにやってみよう」と答え、二者面談の形式で各教科のすべきことを書かせ、優先順位を付け、どのくらい時間がかかりそうかを考えさせながら、期日を決めていくように話しました。すると、さすがにカイチの卒業生です。スラスラとすべきことをリストアップし、優先順位を振り分け、科目の偏りがでないように計画を立てていきます。テストまでの見通しが立ち、漠然とした不安が消えたのでしょうか、その後は何事もなかったように自

習を始めました。私のしたことは「中学生の時にカイチでしていたことを思い出させてあげた」だけです。

4月に開校した「カイチ予備校」では「第1期生」となる高校生30名が、入塾してから初めて受ける定期テストに向けて勉強に励んでいます（Growingが配布される頃には結果が出ています）。

定期テスト対策は、学校教材の質問対応が中心となります。生徒達からの質問にしっかりと対応するため、スタッフ全員で全力で取り組んでいます。

テスト前の質問と言えば理科。高校からは4種類に分かれます。対馬先生が物理と化学、新谷先生が生物を担当。次々と出る質問に対処的に対応されますので、ますます忙しくなっていくそうです。

高校から格段に難しくなる英語は、教室長で

ある熊谷真宏先生が対応します。高校の英語は直訳では理解できないことが増え、辞書や参考書だけでは厳しい場面もあります。指導する側には言語としての造形の深さが必要となり、生徒達はそういった部分も学ぶことができ満足そうです。

数学は福井が担当しています。数学も英語同様、格段に難しくなる上、2つの分野が同時進行しますので、生徒達にとって大変になる科目の筆頭でしょう。当然ながら質問も大量に出ます。高校1年生の指導で注意していることは「中学数学を断絶するな」ということです。高校生になって与えられる知識が多くなると、ついそちらに目を奪われ、中学生で学んだことが抜け落ちることがあります。生徒が持ってくる質問でも「ここで中点連結定理を使っているだけやん!」で片付くことがあります。高校数学は確かに難しいですが、あくまでもこれまでの延長上にあることも忘れないようにして欲しいです。

若い松井先生は現役世代に近く、幅広い科目に対応してくれています。今後カイチ予備校の生徒達にとって「頼りになるお姉さん」のような存在になってくれると思います。

カイチ予備校で働いていて感じていることは、高校の勉強はとて大変ではあるのですが、生徒達は「生き生きと勉強している」ということです。目標があったり、すべきことがあったりすると充実感が得られ、エネルギーも湧いてくるのだと思います。

高校から帰る途中に「蒲生四丁目駅」で下車して、カイチ予備校に寄って自習と質問をしてから家に帰る熱心な生徒がいます。

家が近いため、毎日カイチ予備校を「自分の勉強部屋」のように活用して勉強している生徒もいます。

私は授業の中で「楽しさと大変さは比例する。大きな楽しさを得るには、大変な頑張りが必要になる」と話しました。高校の勉強は大変だからこそ、カイチ予備校を上手に活用して、むしろ自由時間を増やし、高校生活を楽しくしてほしいと願っています。

貴重な時間を割いてカイチ予備校に通ってくれる生徒達の期待に応えられるように、スタッフ全員で力を合わせて頑張っていきます。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

期末テストまでにやっておきたい ケアレスミス防止のルール作り

岡本 泰行 (今福教室・関目教室)

今年もまた梅雨がやってまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。岡本です。この時期は、夏休みが待ち遠しくなる時期ではありませんが、中学生にとっては1学期の成績を大きく左右するテストの時期でもあります。夏休みを楽しいものにするためにその前にあるテストに万全の準備をして取り組みましょう。

さて、1か月前を思い返してみてください。中間テストはどうでしたか?自分が納得できる出来だった人は期末テストもその調子で頑張ってください。ただ1年生は注意が必要です。中間テストより、期末テストの方が問題が難しくなっているのではなく、中間テスト以上の準備をして臨んでください。

では、中間テストで思い通りの結果を残せなかった人。まずは反省です。何が良かったのか。何が出来なかったのか。「反省」と聞くと、皆さん出来ないことにばかりが目がいくのですが、そうではありません。しっかりと良かったところも見つけてください。

では期末テストに向けてどうするのか。まずは、しっかりと前回のスケジュールシートや定期テスト、小テスト等の分析をして下さい。分析と聞くと少し難しいかもしれませんが、「なぜ間違ったのか」を理解してください。

そこで出てくるのが「ケアレスミス」だと思います。

ケアレスミスとは注意不足によって間違いを

したり、軽率(簡単)な間違いをしたりすることです。ですから理解しているのに間違えた、ということでも軽く考えてしまいがちです。しかし軽く考えてはいけません。ケアレスミスはもしかすると起こるべくして起こっている可能性があるからです。

私は授業中、過去問の演習などをする際に、自分の書いた答えや、式を消さずに残しておくようにと言います。それは答え合わせ、間違い直しをするときに、自分が何を間違ったのかを気づきやすくするためです。特に計算問題などは、符号の付け忘れでよく間違えるのか、方程式で移項をするときに間違えるのか。などいろいろな間違い方があります。その間違い方を明らかにするのは、そのような点を意識して答え合わせや間違い直しを行っていただければ、自分自身の間違い方・間違いのクセを把握することが出来てきます。

ですから、**どんなときに、どんな問題で間違えたのかというパターンを見つけましょう。**

ちなみに私は大学入試で約分を忘れたのを今でも覚えています。

ではケアレスミスを起こさないためにどうしたらいいのでしょうか。

それはルールを決めることです。例えば、小学校のとき、のりやはさみなどをよく忘れてたり、なくしたりするよう子が、お道具箱になおすというルールを決めます。そうすると、のりやはさみなどを使う時はお道具箱を探すようになり、な

くしたり忘れてたりすることも改善していきます。ですから、ミスに対して、それを改善するための方法をルールとして決めることが大切です。

先にも述べたように、間違い方を見つけてどんなパターンで間違えるのかをまずは見つけることが大切です。

例:方程式の移項でよく符号を間違える子は

$$3x + 2 = -2x - 3$$

$$3x + 2x = -3 - 2$$

移項をした時に必ず移項をしたものをもともとあった式の右におくなどルールを決めることで移項をしたものがどこにいったのかなどを一目で確認しやすくなります。こうすることで、移項をしたあとの式が見やすくなるので、ミスをしたとしても気づきやすくなります。ミスを見逃さないようにすることで、そのミスに対して意識がいくようになります。

(私は約分に対しては今でも必ず問題を解くときに意識しております。)

ですからミスに対しては、そのミスの原因を探りそのミスを改善できる自分のルールを作ることが大切です。自分のルールを作ることが出来たら、あとはそれを日々の学習で実践することです。

ケアレスミスが多いと思っている人は一度参考にしてみてください。



▲何を間違えているか分からない場合は先生に質問をしよう!



▲スケジュールシートのアドバイスもします!

▲目指せ!自己ベスト!!